

市事研 会報 おおさか 翔

令和 4 年 7 月 13 日 発行 大阪市立小中学校事務研究会 会長 小山 純大 編集 同事務局

ホームページアドレス：<http://www.yl.x3l2v.smilestart.ne.jp/>

今号のピックアップ

- 1 ページ ・ 第 28 回研究大会 実行委員長よりごあいさつ
- 2～3 ページ ・ 研修会及び令和 4 年度総会 報告
- 4 ページ ・ 令和 4 年度 役員・事務局専門部員・監査委員名簿
- 5 ページ ・ 令和 4 年度 幹事会名簿
- 6 ページ ・ 幹事会報告、パソコン研修会について、他団体日程、編集後記



第 28 回大阪市立小中学校事務研究大会 実行委員長よりごあいさつ

日程：令和 4 年 9 月 21 日（水） 場所：大阪市教育センター 講堂

統計開始以来、最も短い二週間での梅雨明けとともに、うだるような暑さが続く今日この頃、熱中症対策としてマスク着用にかかる取扱いの変更や空調機の運用方法の検討、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策における取組の引き続きの徹底など、さまざまな対応でお疲れではないでしょうか。夏季休業期間中は、二学期に備えて身体も心もリフレッシュしていただければと思います。

さて、市事研では、新しい時代に対応した学校事務職員の果たすべき役割と学校事務のあり方を探究し、より高度で信頼ある確かな学校事務の実現と学校教育の充実に向け、今年度の研究課題を、昨年度に引き続き「学校力向上の一翼を担う」とし、活動の重点を「次代の学校事務の確立に向けた研究」「信頼に込める確かな学校事務の実践」「組織力の向上」として、研究を進めているところです。

そのなかで、今年度は、第 28 回大阪市立小中学校事務研究大会開催に向けて、第 28 回大阪市立小中学校事務研究大会実行委員会を立ちあげ、大会サブテーマを「チームで踏み出そう！子どもたちの未来のために」とし、大会当日に向け、実行委員一同、準備を進めているところです。

**第 28 回 研究大会実行委員名簿**

役 職	名 前	所 属

昨年度は二年ぶりに参集型の研究大会を開催することができました。研究大会を「今後の学校事務職員のあり方」について皆様とともに考える機会として捉え、開催に向けた取組を進めてまいりますので、研究大会開催の折には多くの方のご参加をお待ちしています。

なお、研究大会の内容などの詳細につきましては、決まり次第、改めて会報やホームページにてお知らせいたします。

## 研修会 「働き方改革ってどんなこと？－業務の質を上げるコツ」

合同会社 先生の幸せ研究所

代表 澤田 真由美 様

令和4年5月27日（金）大阪市立港区民センターにおいて研修会を開催しました。合同会社先生の幸せ研究所 代表 澤田 真由美 様を講師に迎え、学校における働き方改革を推進するためには、職場全体で取り組んでいくことが必要であり、そのためのポイントやアプローチの方法として、自身のバイアス（思考の偏り）の見つけ方やタイムマネジメント術などについてご講演いただきました。

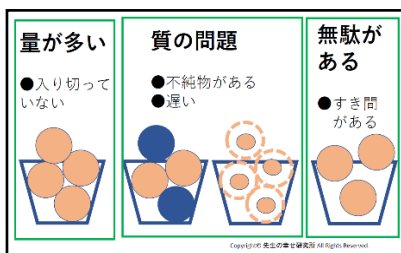
はじめに、ワーク・ライフ・バランスとは「仕事」と「仕事以外の生活」の両方を充実させる働き方や生き方のことであり、ライフ（私生活）を充実させることで、ワーク（仕事）のパフォーマンスを向上させることであると述べられました。そして、ワーク・ライフ・バランスを実現していくために欠かせないことが自身のバイアスを自覚することであり、思考と行動に“癖”が表れることで自分自身を制限し、可能性を狭めてしまうことから、バイアスの見つけ方についてご紹介いただき、自分のバイアスにはどんなものがあるのか、参加者同士で意見交換を行いました。また、「どうしてそう思い始めたのか」「現状に適しているのか」「それは本当か」を考えた（クリティカルシンキングを行った）結果、自分もっているバイアスに気づいたときは手放したり、より可能性を広げるものを書き換えたりすることで、思考と行動の幅が広がると述べられました。

### バイアスの見つけ方

- すべき
- してはいけない
- ふつう・常識
- やっぱり
- できない
- 意見が割れるもの



続いて、タイムマネジメント術について、タイムマネジメントとは、自分が使える時間（勤務時間）のなかに、人とする仕事と自分でする仕事をうまく収めていくことであり、定時までには仕事が終わらないと言われるなかで、「量が多い・質の問題・無駄がある」という現状について考えることが大切である。仕事量が多いことや無駄があることについては自覚している場合も多いと思うが、質の問題については、自分にとってはすべてが重要である、又は効率的であると感じているために、自覚しにくい状態になっていると説明されました。そこで、参加者同士で実際にどのような



なタイムマネジメントを行っているか意見交換を行い、自分の仕事の進め方についての検証や、バイアスが無いかの確認を行いました。意見交換を行うなかで「印刷室の整理整頓を行い、誰もが使いやすい環境を整えること」や、「物品の保管場所等の把握のため、朝の5分間を物品整理の時間としている」という取組が参加者から紹介され、使用する側がきれいに使おうと心がけるようになり、数分であっても時間を投資することで、結果的に在庫確認の負担や整理整頓に費やす総時間を減らすことができ、業務改善につながったという話がありました。これを受けて講師からは、研修会の場だけでなく、学校間連携や共同学校事務室においても業務にかかる時間やノウハウを共有する時間を設けることで、働き方を見直すきっかけになる可能性が示唆されました。

さらに、ほかのタイムマネジメント例として、「Todoリスト」を作成し細かくタスクを洗い出す方法や、突発的に予想外の事態が起こることを想定し、あらかじめ時間を設けておく「クッションタイム」、仕事の開始時期や進捗を締切から逆算して考え設定する「徹底逆算」、タスクの洗いだしや逆算する時間を持つ「見通し確保」、十分な集中力が保たれるのは「起床後13時間」、「理想の24時間」から計画・実行の時間を決めて行う「タイマー仕事」、人間の集中力の波を利

用して集中する時間と休憩する時間を繰り返す「ポロモード・テクニック」などについてご紹介いただきました。

学校現場における働き方改革と聞くと、教員の仕事が学校事務職員に回ってくるのではないかと感じることもあるかもしれないが、決してそうではない。教育の質を高めるため、学校が「必要なこと」に「必要な時間」をかけることができるようにするために、学校事務職員の視点や立ち位置がとても大切になる。学校事務職員は学校運営に携わる「ミドルリーダー」として、まず「時間」を意識し、学校の課題や改善案を周囲に相談することでアイデアや勇気をもらい、「アクション」を起こすことが学校現場における働き方改革につながると説明され、ダニエル・キム氏が提唱する「成功の循環」から、関係性の質を高めることの必要性についてもお話いただき、明日からの「アクション」について参加者各自が考える機会となりました。最後に、今後は実際に動いてみることでみえる景色が変わる。小さな半歩、一步を意識し行動してくださいと述べられ、研修会を締めくくられました。

### 研修会アンケートより（一部抜粋）

- ・自分の考え方やバイアスについて見つめ直すことができた [小学校5年未満]
- ・小さなことから周りを見直すことでよりよい職場環境へ変えていけたらいいなと思った [小学校5～10年目]
- ・初めて会う方と話し、つながりができてよかった [小学校5～10年目]
- ・「働き方改革」について身近なことで想像することができた [小学校21年目以上]
- ・さまざまな気づきがあり、仕事にも家庭にも持ち帰りたい [中学校5～10年目]
- ・対話形式であったので、意見交換ができ仕事だけでなく生活も見直すきっかけになった [中学校11～20年目]



### 令和4年度 総会開催

令和4年5月27日（金）、大阪市立港区民センターにて研修会終了後、引き続いて令和4年度総会を開催し、すべての議案について承認されました。

- 第1号議案 令和3年度 事業報告
- 第2号議案 令和3年度 会計決算報告
- 第3号議案 令和3年度 監査報告
- 第4号議案 令和4年度 役員等選出について
- 第5号議案 令和4年度 事業計画（案）
- 第6号議案 令和4年度 会計予算（案）
- 第7号議案 会則改正（案）について



すべての議案についてご承認いただき、ありがとうございました。

ご承認いただいた事業計画を基に、今年度の研究会活動を進めてまいります。

今後とも、会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。





# 令和4年度 第1回幹事会報告

6月29日（水）大阪市教育センターにおいて、幹事会を開催しました。

- 1 今年度の活動について
  - (1) 事務局 会報第234号発行
  - (2) 研究部 令和4年度の研究について
  - (3) 研修部 パソコン研修会について  
実務研修会開催予定
- 2 第28回研究大会について  
日程：令和4年9月21日（水）  
会場：大阪市教育センター 講堂
- 3 業務連絡
  - ・備品の棚卸しについて
  - ・その他



## パソコン研修会について

今年度のパソコン研修会についても、昨年度に引き続き資料掲載による自習型の研修会とさせていただきます。詳しくは、次号の会報にてお知らせいたします。



### 他団体日程

大阪府公立学校事務研究会研修講座（第80回）

9月2日（金）【Web実施】

### 【編集後記】

慌ただしく過ごした1学期も終わりがみえてきました。

夏休みはリフレッシュして2学期の研究大会に向けて頑張ります。(M)

